

香川大学の情報戦略 ～平成 29 年度活動報告～

林 敏浩¹ 福家 隆² 近藤まゆみ² 末廣紀史²
 T.Hayashi¹ T.Fuke² M.Kondo² N.Suehiro²
 (総合情報センター¹, 情報グループ²)

1. まえがき

総合情報センター情報戦略部門は、香川大学の情報システム（コンピューターシステム、ネットワークシステム、事務系の業務システムなど）、大学情報及び情報基盤の戦略的整備計画の策定に関する基幹タスクを担っている。また、情報戦略部門では教育戦略室、大学教育基盤センターICT 教育部などの学内組織と連携した業務もある。本稿では、平成 29 年度の情報戦略部門の活動を概説する。

2. 基幹システムの更新・運用

平成 29 年度は、図 1 に示すネットワークシステム、キャンパス間回線、コンピューターシステムを更新した。これらの変更に合わせて、効率的なシステム構築と安定稼働の環境確保の検討などを継続的に実施した。従来、コンピューターシステムの更新の半年後に、ネットワークシステムの更新というサイクルであったが、データセンター移行には、ネットワーク基盤を固める必要があるため、コンピューターシステムのリースを 1 年間延長し、ネットワークシステムとコンピューターシステムの更新時期の順序を入れ替えた。また、図 2 に示す事務系の業務システムも、サーバ OS、クライアント OS

サポート終了時期を勘案し、継続的に担当部署と更新計画を策定し、導入業者との調整を行った。

3. 総合情報センター業務継続計画（BCP）

情報戦略部門では、災害発生時の具体的な復旧手順（復電の方法、サーバの起動方法など）のチェックリストを作成している。駆けつけたスタッフが誰でも復旧できるレベルまで詳細化したチェックリストを目指して内容をブラッシュアップした。

4. 他部署の支援・調整

従来、各部署でシステムを導入・更新する場合、総合情報センター・情報グループへ協力依頼範囲や内容が曖昧なまま、依頼されることが多かった。導入後の運用時、システム管理の役割分担が曖昧になることを防ぐため、「事務情報化に係るシステム導入・開発協力依頼書」により、担当部署の長から依頼いただくようにした。これにより、システム化の内容や運用における責任範囲を明確にできた。平成 29 年度は、学務系・総務系併せて 8 件のシステム新規案件の支援・調整を実施した。また、各部署の情報公開ページについて、学内のホームページ更新方法について調整・整理を実施した。

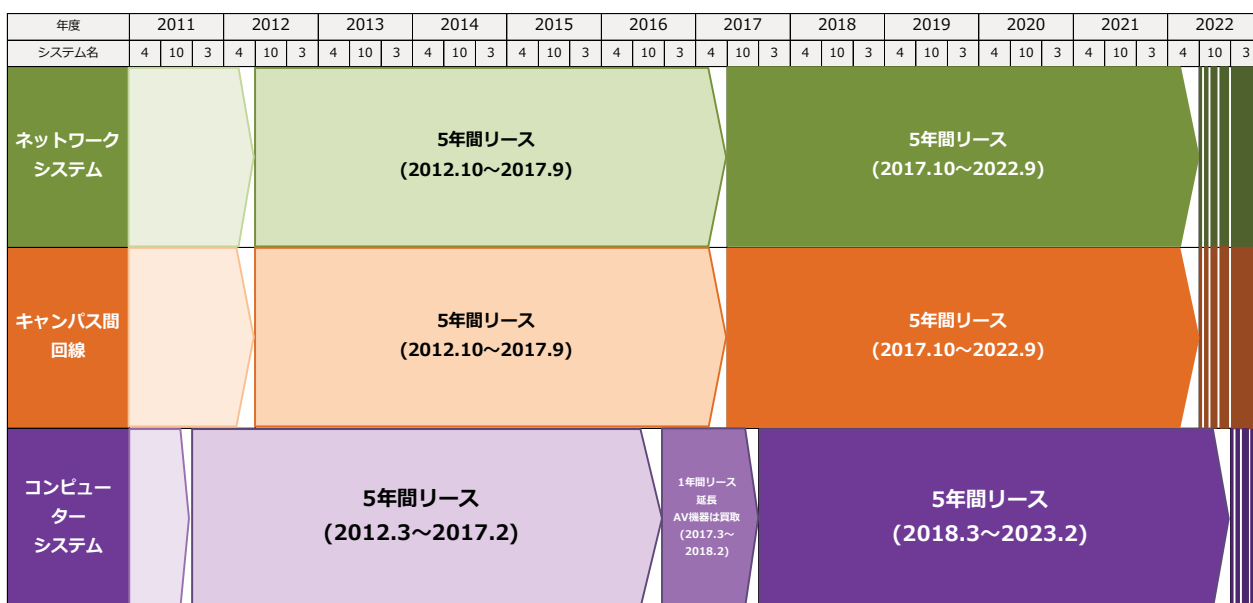


図 1. 総合情報センターの主なシステム更新の工程

| 区分 | システム名 | サーバOS | クライアントOS | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 平成32年度 | 平成33年度 | 平成34年度 | 平成35年度 | |
|--------------------------------|------------------------------|------------|--------------------|--------|---------------------------|---------------------------------------|------------|------------|------------|--------|--------|--------|------------|
| Server OS サポート終了予定 | Windows Server 2003 | 2015/7/15 | | | | | | | | | | | |
| | Windows Server 2008, 2008 R2 | 2020/1/14 | | | | | | | | | | | |
| | Windows Server 2012, 2012 R2 | 2023/10/10 | | | | | | | | | | | |
| クライアントOS サポート終了予定 | Windows Vista | 2017/4/11 | | | | | | | | | | | |
| | Windows 7 | 2020/1/14 | | | | | | | | | | | |
| | Windows 8 | 2023/1/10 | | | | | | | | | | | |
| 人事系 財務系 学務系 GW その他 | UPDS(人事給与システム) | 2008R2 | Win7 | | | | 次期更新 予定 | | | | | | |
| | HR(人事評価システム) | 2008R2 | Win7 | | | | | 次期更新 予定 | | | | | |
| | 財務会計システム | 2003→2012 | Win7→ Win7,8,10 | | サーバ更新 システム更新 システム統合 | | | | | | | | 次期更新 予定 |
| | 物品請求システム | 2003→2012 | | | | | | | | | | | |
| | 科学研究費補助金システム | 2008→2012 | | | | | | | | | | | |
| | 旅費システム | 2008→2012 | | | | | | | | | | | |
| | 教務システム、免除システム | 2008→2012 | Win7 | | サーバ更新 システム統合 | | | | 次期更新 予定 | | | | |
| | 証明書発行システム | 2003→2012 | WinXP→Win7 | | | | | | | | | | |
| | グループウェア (サイボウズガルーン) | RHEL5 | web | | | SSharePoint を利用したス ステムに更新予 定 | | | | | | | |
| | 大学基礎情報データベースシステム | 2003→2012 | web | | サーバ更新 システム更新 | 後継システムに 移行準備中 | | | | | | | |

図 2. 事務系業務システムの更新計画

5. 第 3 期中期目標・中期計画に基づく平成 29 年度実績の総括

(1) クラウド化の推進，データセンター利用

ICT コスト削減，省エネルギー化，BCP 対策，コンプライアンス遵守等，これらを解決する方策として，多くの大学がクラウド化を進めている。香川大学でも同様に，平成 29 年度にハイブリッドクラウド環境（プライベートクラウド環境とパブリッククラウド環境の併用）を構築し，同環境に基幹システムを移設した。プライベートクラウド環境は，データセンター内に構築しており，従来よりセキュリティレベルが高いシステムとなっている。またネットワークも，データセンターを基幹とするスター型へ変更し，高耐障害性の構成となった。また，クラウド化は計算機資源の有効活用など教育研究の高度化や豊富化への貢献も期待される。

(2) 包括連携協定の締結

本学と株式会社 ST Net，リコージャパン株式会社は，相互の連携・協力を強化し地域の発展に寄与するため，地域活性化に資する研究交流，人材交流，人材育成，技術開発交流に関する連携・協力協定を締結した。既に共同研究や地域活性化イベント等の開催などで協力して取り組んできた実績があり，協定締結によりこれらをさらに発展させ，それぞれが有する人的・知的・物的資源を連携・協力して活用することにより，地域活性化に役立てる。

(3) 香川大学における LMS (学習管理システム)

基盤の安定した管理・運用について

e-Learning 利活用において複数 LMS 基盤の乱立が，教育の質保証等の観点から先行大学で問題（機器の管理・運用が不明確になる，ハードウェア・ソフトウェアの保守・更新計画が曖昧になる等）となっている。香川大学では大学教育基盤センター所掌の「香川大学 Moodle」（教員の講義支援），大学連携 e-Learning 教育支援センター四国所掌の「大学連携 Moodle」（四国国立 5 大学における共同授業実施）が同様な問題を発生する可能性があった。これに対して，香川大学総合情報センターコンピュータシステムに当該 LMS のハードウェアとソフトウェアを組み込み，さらに，LMS 基盤管理の一本化を図り，学習管理システム基盤として安定した管理・運用ができる環境を確立した。

6. まとめ

本稿では，平成 29 年度の総合情報センター情報戦略部門の活動を，基幹システムの更新・運用，総合情報センター業務継続計画，他部署の支援・調整，第 3 期中期目標・中期計画の観点から概説した。

第 3 期中期目標・中期計画について平成 29 年度は情報戦略として重要な案件が多かった。今後も，情報戦略部門として重要な判断が要求される場合が多々あると考える。このような可能性を踏まえ本学の情報戦略の要としての役割を認識して，今後とも迅速に質の高い業務遂行をこころがけたい。